科目名	学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
電子工学:Electronic Engineering	3E	2	90分×30回	履修	講義・通年	-

教 員 名 山田 陽一: YAMADA Yoichi

(業概要

近年の高度情報化社会をもたらしたエレクトロニクスの目覚しい発展は、既存の半導体デバイスの機能の飛躍的な向上に加え、新しいデバイスの登場に負うところが大きい。本科目では半導体デバイス基礎となるpn接合の定量的な電圧ー電流特性を学習し、また代表的な半導体デバイスであるトランジスタの構造と動作原理を定性的に理解し、その機能を応用できる力を養うことを目的とする。

到 達 目 標

評価方法

(1)エネルギー帯構造を理解し、半導体及びそのキャリアの生成機構につ いて説明できる。

(2)半導体の電気伝導について説明できる。 (3)各バイアスにおけるpn接合のエネルギー帯構造を理解し、その電圧ー電流特性について説明できる。 (4)各種トランジスタの動作原理を理解し、その利用方法を説明できる。

①中間試験(40%)、②期末試験(40%)、③自学自習によるレポート (20%)によって評価し、前期と後期の評価を平均する。

(4)各種トランジスタの動作原理を理解し、その利用方法を説明できる。						JABEE基準1(1)				
学習・教育目標			(C)				.			
	回	項	目	内容		回	項目	内容		
	第1	電子と約	子と結晶① 原子内の電子の状態及び電子配置につい 説明する。			第16	半導体の電 気伝導③	キャリヤの拡散及び拡散による電流について説明する。		
	第2	電子と統	吉晶②	原子の集合体である結晶及び結晶中での原 子の結合について説明する。		第17	半導体の電 気伝導④	キャリヤ密度の時間変化を表すキャリヤ連続 の式について説明する。		
	第3	電子と約	結晶③	結晶の種類及び結晶面について説明する。		第18	pn接合とダイ オード①	pn接合および拡散電位について説明する。 エネルギーバンド図を用いて、pn接合の電 圧一電流特性を定性的に説明する。		
	第4	と自由電子①		原子内の電子の運動エネルギーとポテン シャルエネルギーについて説明する。	授	第19	pn接合とダイ オード②	pn接合の過剰少数キャリヤ密度について定量的に説明する。		
授	第5			原子が集合して結晶を構成した場合のエネル ギー帯形成について説明する。		第20	pn接合とダイ オード③	過剰少数キャリヤの拡散により生ずる電流を 定量的に説明する。		
	第6	エネル : と自由電		結晶のエネルギー帯構造と電気伝導性の関係について説明する。		第21	pn接合とダイ オード④	pn接合を用いたダイオードの総合的な電圧 一電流特性について説明する。		
業	第7	リア① 真性 説明		真性半導体でのキャリヤの生成機構、および 真性半導体と不純物半導体の違いについて 説明する。	業	第22	LEDと太陽電 池	pn接合の応用として、LEDと太陽電池について説明する。		
	第8			中間まとめとして試験を実施する。		第23	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。		
計	第9	半導体のリア②	のキャ	不純物半導体でのキャリヤの生成機構について説明する。	計	第24	バイポーラトラ ンジスタ①	トランジスタのエネルギーバンド図、キャリヤの流れ及び電流増幅率について説明する。		
	第10	キャリア密度 とフェルミ準位 ①		半導体中のキャリヤ密度とフェルミ・ディラック分布関数の関係について説明する。		第25	バイポーラトラ ンジスタ②	電流増幅率の決定因子及び接地形式について説明する。		
画	第11	キャリア密度 とフェルミ準位 ②		真性キャリヤ密度とフェルミ準位の関係について説明する。	画	第26	バイポーラトラ ンジスタ③	スイッチング動作と飽和領域の関係について 説明する。		
	第12	キャリア密度 とフェルミ準位 ③		不純物半導体中のキャリヤ密度とフェルミ準 位について説明する。		第27	バイポーラトラ ンジスタ④	図式解析法を用いた電圧・電流の算出方法 について説明する。		
	第13	半導体の電 気伝導①		半導体に電圧を印加した際のドリフト電流に ついて説明する。		第28	接合形FET①	接合形FETの動作原理について定性的に説明する。		
	第14	半導体の電 気伝導②		半導体におけるオームの法則及び各導電形 の半導体の抵抗について説明する。		第29	接合形FET②	静特性および相互コンダクタンスについて説 明する。		
	第15	5 中間まとめ		前期の学習事項のまとめを行う。		第30	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。また授業評価アンケートを行う。		
自	自学自習の内容 課題として演習問題を示す。									
	関連科	- 目	化学A、	物理A、基礎数学 I B、電気回路 I						
	教 科	書	電子デ	バイス工学(古川静二郎、荻田陽一郎、浅野種	正/	′森北出	版)			
	参考	書	基礎半	導体工学(国岡昭夫、上村喜一/朝倉書店)						
授業評価・理解度最終回に授業評価アンケートを行う。										
■担当教員 西田克美:NISHIDA Katsumi 備 考										